



# 会報 SHINSHIYOU 神私幼

平成27年9月1日  
第193号

(昭和29年7月10日創刊)

発行：公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会  
会長：小澤俊通  
編集人：神私幼総務部(広報室)  
発行：年4回(6月・9月・12月・3月)  
発行部数：1700部

<http://www.shinshiyou.com>

〒221-0055 横浜市神奈川区大野町1-25 横浜ポートサイドプレイス509 アネックス5F  
TEL. 045 (440) 3210 FAX. 045 (440) 3209



公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会

## 会長挨拶

### 二学期の重点事業 幼児教育の振興に向けて

日頃より県連諸事業へのご協力に感謝  
申し上げます。五月の総会も無事に終了し、

全ての議案をご承認頂きました。任期二年目を

迎えた役員一同は、心を合わせて県内全ての私立幼稚園発展のために努力していくことをお誓い申し上げます。また既に各部はご承認頂いた事業計画に基づき、様々な事業を開催しております。引き続きのご支援ご協力をお願い申し上げます。

## 新制度がスタート

課題を抱えながらも新制度はスタートし、五ヶ月が経過しました。県連では新制度を検証すべく、特別委員会の名称を「新制度対応特別委員会」と変更

し再スタート致しました。既に六月・七月と委員会は開催され、各協会から推薦された各委員からの現状報告がありました。様々な課題が浮き彫りとなり、新制度に移行した園はもとより県内の行政担当者も相当な苦労を抱えながら、この制度に振り回されている事が分ります。特に複数の市町村から園児を受け入れている園では、幼稚園が所在する自治体はすぐに対応してくれても、他の自治体からの対応は後回しで、事務的な遅滞が生じている現状が見えてきます。給付金の支給が遅れる事は園の運営に大きな支障となります。各協会においても新制度移行園の現状を把握され、行政への働きかけを強くお願い致します。

既に各市町村からは来年度に向けての意向調査も行われており、平成二十八年度以降、新制度移行を行なう特別委員会での議論を進めていきたいと考えています。

## 研修・研究活動に汗をかく

この夏も多くの研修・研究活動が展開されました。研修事業部と研究部の先生方には時間を割いて



公益社団法人  
神奈川県私立幼稚園連合会  
会長  
**小澤俊通**

## ■ 幼児教育振興法制定に向けて

認定こども園の保育者は勿論、幼稚園教諭にも参加して頂ければと存じます。幼稚園教育の質の向上は私達の永遠のテーマです。二学期以降も様々な事業を開催してまいりますので、積極的なご参加をお願い申し上げます。

全日本私立幼稚園連合会は、自民党の幼児教育振興議員連盟とともに「幼児教育振興法(仮称)」を議員立法で国会に上程しようと運動展開しています。これは幼児教育の大切さを国家戦略の一環とらえ、法律でしっかりと担保しようというものです。

この秋から署名活動も予定されており、この協力を得られるようご協力をお願い致します。

地域になくてはならない私立幼稚園としてこの夏も神奈川県議会の各会派へ、そして県民長や私学振興課及び次世代育成課へ平成二十八年度の予算要望を行つて参りました。私学関係予算の増額と新制度移行園への加算措置増額は私たち私立幼稚園の願いです。平成二十七年度は五千円近い経常費補助金の増額が実現ましたが、この流れを継続したいと願っております。願いを実現するためには加盟園皆様の応援が必要です。引き続き変わらぬご支援とご協力をお願い申し上げます。

「素敵な街にはおいしいパン屋さんと素敵な幼稚園がある」と言われます。地域の中でなくてはならない存在として、各私立幼稚園は位置づけられています。常任理事会や団体長会などで何度も議論され、国民的な機運を盛り上げて、この法律制定を大きな運動していくことが概ね了解をされました。

この秋から署名活動も予定されており、この協力を得られるようご協力をお願い致します。

この秋から署名活動も予定されており、この協力を得られるようご協力をお願い致します。

## INDEX

- 1 会長挨拶**  
**二学期の重点事業 幼児教育の振興に向けて**  
公益社団法人神奈川県私立幼稚園連合会 会長 小澤俊通
- 2・3 研修事業部・研究部 活動報告**  
平成27年度就職相談会 経営管理部 次長 近藤康弘
- 4 平成28年度予算要望について** 振興部長 石井和則
- 5 Pride of KANAGAWA**  
県父母の会連合会委員総会開催報告  
会長就任のご挨拶 父母の会連合会 会長 渡邊かほり
- 6・7 シリーズ 12協会長に聞きました**  
相和協会/逗葉協会/相模原協会/鎌倉協会/湘央協会
- 8 研修会報告**  
平成27年度神奈川県連合会加盟園数・園児数  
新制度対応特別委員会  
スタートした新制度の県内状況 委員長 山口繁美





## 相(あい)和(わ)する協会

です。私の若い頃も「自己主張せよ!」と事ある毎に先輩園長に言われたものでした。

## 研修会報告

研修事業部主催 研究部主催

開催日	研修名	会場	講 師	テ ー マ	参加者数
6/ 3(水)	新規採用教員研修会	神奈川県立体育センターアリーナ	玉川大学 T A P センター 白山 明秀 先生	「体験しようアドベンチャー教育 第1回」	138人
6/ 4(木)	若手後継者のための保育勉強会	かながわようちえん会館	社会福祉法人たばな福祉会RISSHOKID'Sきらり園長 坂本 喜一郎 先生 玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生	「子どもの遊びを可視化する保育～一人ひとりが生きる魅力を感じ、わくわくできる園づくり～」	34人
6/10(水)	藤沢オープン講座	藤沢市民会館	社会福祉法人たばな福祉会RISSHOKID'Sきらり園長 坂本 喜一郎 先生	「生きる魅力を感じる～一人ひとりがわくわくできる園づくり～」	58人
6/17(水)	新規採用教員研修会	かながわようちえん会館	鎌倉女子大学 教授 小泉 裕子 先生	「子どもの心に寄り添う保育～子どもの見方・捉え方～」	154人
6/22(月)	男性保育者勉強会	かながわようちえん会館	和泉短期大学 准教授 相馬 靖明 先生	「男性保育者としての持ち味を活かそう」	40人
6/24(水)	相模原オープン講座	相模原市産業会館	NPO法人あそび環境Museumアフターパーパン理事長 北島 尚志 先生	「遊び心広がる～先生も子どもたちも～」	44人
6/25(木)	統合保育基礎講座	かながわようちえん会館	Nippon Data社会福祉研究所副所長・教育福祉研究室室長精神保健福祉士 上原 文 先生	「子どもと家庭をめぐる今日的具体的支援」	105人
7/22(水)	中堅教諭対象講習会	横浜美術館 子どものアトリエ	横浜美術館・子どものアトリエ主任コーディネーター 山崎 優 先生	横浜美術館子どものアトリエ研修	98人
7/27(月)	教員免許状更新講習兼10年経験者研修会	鶴見大学	小田原短期大学 特任教授 佐藤 みどり 先生	「子どもの身体表現に関する理論と実践」	免許更新講習会 232人 10年経験者研修 12人
7/28(火)			小田原短期大学 准教授 宮川 萬寿美 先生	「子どもの変化と対応」	
			十文字学園女子大学 教授 宮里 晓美 先生	「人間関係の育ちを支える保育者の援助とは？」 「安心つながりを生み出す保護者支援の在り方」	
8/ 4(火)	新規採用教員研修会	小田原短期大学	鎌倉女子大学短期大学部 教授 佐藤 康富 先生	「指導計画作成について－経験の多様性・連続性－」	198人
8/ 5(水)			十文字学園女子大学 教授 平田 智久 先生	「造形は楽し」	
			小田原短期大学 講師 野津 直樹 先生	「子どもの理解と保育者の援助」	198人
			小田原短期大学 准教授 有村 さやか 先生	音楽「幼児の音楽表現と器楽演奏～音・リズム・身体～」	50人
			東京都市大学 教授 内藤 知美 先生	絵本「絵本を活用した保育」	39人
			東京家政大学 教授 佐藤 英文 先生	自然「先生がつなぐ子どもと自然(草花遊びを通じて)」	38人
			日本児童遊戯研究所 所長 有木 昭久 先生	「体を動かす遊び～伝承遊びから学ぶ～」	71人
8/ 6(木) ～8(土)	若手後継者のための保育勉強会	京都府 嵯峨幼稚園 大阪府 あけぼの幼稚園・あけぼのっこ保育園	コーディネーター 玉川大学教授・四季の森幼稚園園長 若月 芳浩 先生 嵯峨幼稚園園長 藤本 明弘 先生 あけぼの幼稚園・あけぼのっこ幼稚園園長 安家 周一 先生	～他園の取り組みを具体的に観察し、今後のあり方を考える～ ・「建築、環境から保育を見直す視点 ・「新制度をどのように活用し、保育に活かす必要があるか」	18人

## 平成27年度神奈川県連合会加盟園数・園児数

協会名	園数	園児数	前年度園児数	前年度比
公益社団法人 横浜市幼稚園協会	255	50,063	51,542	-1,479
公益社団法人 川崎市幼稚園協会	83	21,238	21,712	- 474
横須賀市私立幼稚園協会	30	4,865	4,873	- 8
特定非営利活動法人 藤沢市私立幼稚園協会	30	6,462	5,989	473
鎌倉私立幼稚園協会	22	2,978	3,080	- 102
茅ヶ崎市私立幼稚園協会	16	3,268	3,341	- 73
湘央地区私立幼稚園協会	41	6,469	6,713	- 244
小田原私立幼稚園協会	12	1,397	1,265	132
相和私立幼稚園協会	27	5,221	5,372	- 151
一般社団法人 相模原市幼稚園協会	37	7,907	8,157	- 250
逗葉私立幼稚園協会	5	655	728	- 73
厚木地区私立幼稚園協会	20	3,065	3,021	44
計	578	113,588	115,793	-2,205

県連設立 1948年(昭和23年)

## 新制度対応特別委員会 スタートした新制度の県内状況

県内の私立幼稚園は4月1日現在、施設型給付の幼稚園68園、認定こども園55園(幼保連携型37園、幼稚園型18園)が新制度へ移行しました。スタートして2ヵ月後の6月、第1回委員会では委員から各協会加盟の移行園の諸問題を報告してもらいました。その内容から感じ取れるのは行政も十分慣れていない、受ける園側も十分理解していないことが伺え、混乱が生じていると言うことです。

委員長  
山口繁美

給付金は毎月1日の状況を元に算出され、請求手続きを経て月末入金となります。大方の市・町では4月分は月末には入金されました、一部では4月分が5月にずれ込んだところもありました。又、加算分が給付されないところもあり、本来加算されない加算が給付された例もありました。加算ひとつ取っても、7月時点でも確定ではなく、概算となっています。さらに、一時預かり事業も認定手続き中であります。

この様な事から、新制度は運用面で不十分な事も多々あり、行政と施設が共に作り上げてゆく必要を感じます。来年度の移行について調査がありました。結論は熟慮の上、決めることだと思います。

From the Public Relations Section

## 編集後記

一部増加傾向にある地域もあるとはいって、少子化は確実に進行しています。幼稚園の現場では教員が不足し、なつかつ待機児童の解消は果たせていないというのも現実です。同時に幼児教育と指導者の資質の向上の必要性も問われています。いろいろな制度や対応はやむをえない状況だとは思いますが、子ども達と幼児教育を志す人達の思いが置き去りにされているような気がしてなりません。幼児教育に携わっている者として、幼稚園は教育の場であること、そして子ども達にとっては楽しい場であり、幼児教育を志す人達にとってやりがいのある夢あふれる場であることを忘れてはならないと、強く感じております今日此の頃です。

広報室 磯西真理子